

宮古ブルーだけではない、島の自然や文化で観光活性化のために、島の人々が一丸となり一年中楽しめる宮古島の観光商品づくりに取り組み中。5つの体験コンテンツがスタート！

「子どもから大人まで入り江の自然を蟹蔵から学ぶ」佐和田の浜の帆掛けサバニクルーズ



貴重な自然の入り江が残る伊良部島・佐和田の浜。静かで穏やかなその海には、マングローブ林が広がります。これまで干潮時のみだったカニ漁ツアーを、満潮時には伝統的な帆掛けサバニでクルーズしながら体験。「渡り蟹を引き上げた喜びと、食べた時の驚きをぜひ体験して欲しい」と、蟹獲り名人の蟹蔵さんは語ります。今後はサンセットクルーズやナイトクルーズ（星空＆夜光虫）など計画中。
【マングローブ蟹養殖 蟹蔵】サバニ&ランチコース12,000円/人（予定）

手ぶらで楽しめるグランピングで「素晴らしい宮古島の星空をぜひ堪能してほしい！」



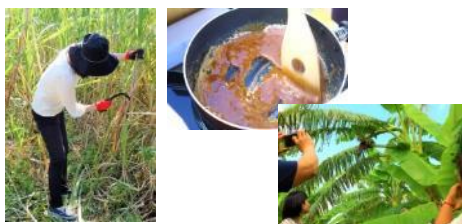
島でぜひとも味わって欲しいのは、“都会にない大自然”。満天の星空や島に届く海風などを贅沢に堪能してもらうため、手ぶらで気軽に楽しめるグランピングやBBQ用品をレンタル。家族で楽しいひと時を過ごす簡易キャンプから、話題のグランピングまで幅広いニーズに対応。「とにかく冬の宮古島の星は素晴らしいので一度体験してみたい」とサービスを展開するクレオの中西さんは熱く語ります。
【クレオ 宮古島支店】2~4名1グループにつき25,000円（予定）

“ヤギのペースで島の御嶽や井戸など離島の暮らしを体感できる”「来間島 ヤギさんぽ」



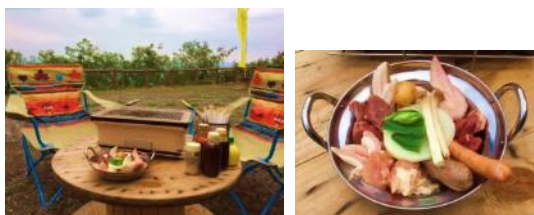
近年、雑貨店やCaféがオープンし、観光化が進んでいる来間島。現在の蛇口をひねれば水が出る都会生活の対極にある、数十メートル崖下の来間井（ガー）まで生活用水を汲みに行くことが日課であった離島の暮らし。そのギャップを手掛かりに離島の暮らしを体感してもらう、島民とヤギと巡る集落散策プログラム。島では普通の光景だった島人ケンちゃんの「ヤギさんぽ」は貴重な体験。
【NPO法人来間島大学まなびやー】参加料金 3,000円/人（予定）

とれたて、搾りたて、作りたて！下地島のオリジナルスムージー「シモジー」づくりも体験



有機農法でさとうきびやバナナを育て、加工・商品化まで一貫して行うオルタナティブファームは、島の農業をまるごと体験できる「美味しく！楽しく！学べる！黒糖作り体験／バナナスイーツ作り体験」を提供。「とれたて、搾りたて、作りたての味に感動し、農業や食の大切さを学んで欲しい」と語る代表百姓の松本さんは、このプログラムで2016年度の「宮古島の宝物グランプリ」も受賞しました。
【オルタナティブファーム宮古】参加料金3,500円/人（予定）

滞在型ナイトエンターテインメント「美しい伊良部島の夜をゆったり贅沢に楽しもう！」



伊良部大橋が開通しアクセスが良くなった伊良部島。「ダイビングなど昼間のレジャーを楽しんだ後も、ゆっくりと滞在して贅沢な時間を過ごしてもらいたい。」Hamburger&Bar insulaの宮国さんが提供するの、手ぶらで楽しめるBBQと映像サービスを絡めた野外シアター。ただゆったり海を眺めても、旅の思い出のスライドショーを友人と楽しんでも、伊良部島の夜を満喫できる新たなプランです。
【Hamburger& Bar insula】BBQセット 1人前1,500円（予定）

＜本リリースに関するお問い合わせ＞

ゆる宮古島プロジェクト 広報事務局（one内） 担当：浅野・大田・馬淵

E-mail:press@one-pr.net TEL：03-6328-2883 FAX：03-3770-6611